ALL SOILS ALL STATES ALL ROUND
GEO-ANALYSIS INTEGRATION

一般社団法人　GEOASIA研究会

平成30年度
第10回　総会

2018.8.24　名古屋大学にて

１．会員の加入・変更

（１）会員の加入・変更（平成29年度総会以降）

法人会員

＜加入＞

(株)安藤・間　様

(株)熊谷組　様

＜退会＞

無

平成30年8月22日現在　40団体

（１）会員の加入・変更（平成29年度総会以降）

個人会員

＜加入＞

河村　精一　様　　（中部電力（株））

＜退会＞

1名

平成30年8月17日現在　90名

２．会計報告

（１）　平成２９年度決算

平成29年度　決算		
平成29年6月30日から平成30年6月30日まで		
		一般社団法人　GEOASIA研究会
		単位：円
科目	平成29年度	備考
◆収入の部		
(1)会費収入	2,326,000	
(2)委託研究費収入	29,248,242	
(3)再実施許諾料	6,000,000	
(4)雑収入	5,261,000	
(5)利息等	339	
当期収入合計 (A)	42,835,581	
前期繰越金収入	16,263,743	
収入合計 (B)	**59,099,324**	

◆支出の部		
(1)法定福利費	1,575,307	社会保険料、労災保険、雇用保険料
(2)福利厚生費	328,500	
(3)交通費	214,437	理事・事務局・GEOASIA Master等の打合せ交通費
(4)通信費	87,923	会員、研究委託先への資料郵送代を含む
(5)事務用品費	235,818	事務用品、書籍代、印刷トナー代を含む
(6)調査研究費	96,822	学会参加料など
(7)雑用費	975,086	会議費（総会を含む打合せ費用）、振込手数料、コンピュータ整備費含む
(8)外注費	12,290,895	名古屋大学へのライセンス費用を含む
(9)事務局費	10,830,546	会計士顧問料、給与、地盤工学会法人会費、特許出願手数料を含む
(10)教育委員会 講習会準備費	64,138	出版費，ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ謝金、賞状等
(11)広報活動費	469,824	ホームページ維持管理費、Bulletin・広報用パンフレット印刷代含む
(12)減価償却費	1,163,115	
(13)期首棚卸高	2,180,334	
(14)期末棚卸高	-1,016,688	
(15)法人税住民税及び事業税	1,021,427	法人税・事業税・県・市民税,受取利息源泉等
(16)保険料	590,905	
当期支出合計 (C)	31,108,389	
当期収支差額 (A)-(C)	11,727,192	
次期繰越金 (B)-(C)	**27,990,935**	

（2）監査報告

監　査　報　告　書

平成３０年８月 22 日

一般社団法人　GEOASIA 研究会
　理事長　淺岡　顕　殿

私は監査役として、平成 29 年 7 月 1 日から平成 30 年 6 月 30 日までの第 9 期事業年度に係る計算書類に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1．監査の方法及びその内容

私は、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）について検討いたしました。

2．監査の結果

計算書類は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成 30 年 8 月 22 日

一般社団法人　GEOASIA 研究会

監事　小高猛司

（３）平成30年度予算

平成30年度　予算(案)		
平成30年7月1日から平成31年6月30日まで		
		一般社団法人　GEOASIA研究会
		単位：円
科目	平成30年度	備考
◆収入の部		
(1)会費収入		
	2,326,000	
(2)委託研究費収入		
	16,960,000	
(3)再実施許諾料		
再実施許諾契約	6,000,000	
(4)雑収入		
その他雑収入	50,000	
受取利息	2,000	
当期収入合計 (A)	25,338,000	
前期繰越金収入	27,990,935	
収入合計 (B)	**53,328,935**	

◆支出の部		
(1)法定福利費	1,600,000	社会保険料、労災保険、雇用保険料
(2)福利厚生費	330,000	
(3)交通費	200,000	理事・事務局・GEOASIA Master等の打合せ交通費
(4)通信費	90,000	会員、研究委託先への資料郵送代を含む
(5)事務用品費	200,000	事務用品、書籍代、印刷トナー代を含む
(6)調査研究費	100,000	学会参加料など
(7)雑用費	360,000	会議費（総会を含む打合せ費用）、振込手数料、コンピュータ整備費含む
(8)外注費	9,600,000	名古屋大学へのライセンス費用を含む
(9)事務局費	11,000,000	会計士顧問料、給与、地盤工学会法人会費、特許出願手数料を含む
(10)教育委員会 講習会準備費	210,000	出版費，ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ謝金、賞状等
(11)広報活動費	200,000	ホームページ維持管理費、Bulletin・広報用パンフレット印刷代含む
(12)減価償却費	1,170,000	
(13)期首棚卸高	1,016,688	
(14)期末棚卸高	-1,400,000	
(15)法人税住民税及び事業税	70,000	法人税・事業税・県・市民税,受取利息源泉等
(16)保険料	590,905	
当期支出合計 (C)	25,337,593	
当期収支差額 (A)-(C)	407	
次期繰越金　(B)-(C)	27,991,342	

３．平成29年度活動報告

2018年8月24日
総会報告

一般社団法人

GEOASIA研究会

29年度活動報告

Bulletin No.12をご覧下さい.

29年度の「研究会」活動（受託研究）（6件）

①ガスホルダー基礎の耐震性評価解析
（３D解析を含む）

②堤防の洪水時安定性評価に関する解析

③地盤ー煙突構造物相互作用系の耐震性評価
（３D解析を含む）

④岸壁構造物の耐震性評価（３D解析）

⑤地震時～地震後の盛土・地盤の耐震安定性の検討
（３件）

⑥液状化地盤における電柱の傾斜抑制対策の検討
（３D解析を含む）

29年度の「研究会」活動（受託研究以外の主な研究）

1．肥料の溶解による構造創出を狙った模擬自然堆積粘土の作成の試み
2．１G場振動台実験による盛土造成斜面の変状に及ぼす浸潤面の影響
3．土の繰返し負荷挙動の再現性向上を目指した複合負荷弾塑性構成式の改良
4．表層地盤の非線形挙動と多次元伝搬が共振動観測記録に及ぼす影響
5．地盤不整形性に励起される表面波と実体波の干渉が表層地盤被害に及ぼす影響
6．空気～水～土骨格連成有限変形解析による河川堤防の浸透破壊メカニズムの考察
7．不飽和土中の間隙水封入空気量計測のための実験的研究
8．新たに定義する有効飽和度で記述する空気～水～土骨格連成有限変形解析の開発
9．***u*-*w*-*p*** formulationに基づく高透水性供試体の変形解析

29年度の「研究会」活動（その他）

1．Bulletin（日・英版）の作成
2．国際会議・学術論文への投稿
3．Home Page（日・英版）のリニューアル／更新
4．プレ・ポストの改良などを含む
　　解析コード*GEOASIA*の市販化の検討

成果報告(論文)

Soils and Foundations

①Verification of a macro-element method in numerical simulation of the pore water pressure dissipation method -a case study on liquefaction countermeasure with vertical drains under embankment-, Vol.57(3), 2017.

Canadian Geotechnical Journal

①Deformation/failure mechanism of saturated fill slopes due to resonance phenomena based on 1G shaking-table tests, Published on the web 02 March 2018.

Geotechnical Engineering Journal of the SEAGS & AGSSEA

①Soil-water coupled analysis of porewater pressure dissipation method in anticipation of advanced performance design—examinations of effectiveness in reclaimed ground, Vol. 48, No.3, pp. 19-31, 2017.

土木学会論文集 A2(応用力学)(応用力学論文集)

①埋立高さの異なる名古屋港ポートアイランドの南海トラフ巨大地震時の耐震性評価, Vol. 73, No. 2, p. I_233-I_244, 2017.

②水～土連成有限変形解析による自然堆積粘土地盤に打設された杭に作用する地盤反力の検討, Vol. 73, No. 2, I_535-I_544, 2017.

国内発表　地盤工学会、土木学会、日本地球惑星連合、計算工学会、応用力学シンポジウムなど、多数。

国際発表　第19回国際地盤工学会（19th ICSMGE）で8編、（2017.9.18-21、ソウルで発表）

その他，Bulletinを参照下さい.

まとめ

- 委託研究の実施（平成２９年度分：６件）
- （委託研究以外において）適用解析事例の拡大／新分野への展開
  - ・構成式の高度化
  - ・大規模計算（3次元計算の常態化）
  - ・Full formulationの計算手法の開発
  - ・不飽和土の解析技術の高度化
  - ・表層地盤の変形解析に基づく入力地震動の推定等
- 講演，成果発表多数を含む広報活動
- ***GEOASIA*** MASTERについては、後ほど報告があります。

次に，３つの3次元に関する研究成果を紹介！

29年度活動報告

おわり

４．平成30年度事業計画（案）

平成30年度の活動計画

１．調査設計・研究支援

◆委託研究

①ガスホルダー基礎の耐震性評価解析（3D解析）

②遠心載荷実験の再現解析

③断層形成過程の地盤力学的考察

他3件程度を受注予定

平成30年度の活動計画

２．教育委員会　講習会準備

- ***GEOASIA*** Master認定
- 講習会の開催
- 「教科書」出版の準備
- ***GEOASIA***普及版の販売に向けた準備

- 東京事務所設立を通じて、東京方面への教育、広報の強化

平成30年度の活動計画

３．広報活動

◆ ***GEOASIA*** 研究会のホームページの充実

http://www.geoasia.jp/

成果報告

第53回地盤工学研究発表会（高松，2018年7月）

12編

第73回土木学会年次学術講会（札幌，2018年8月）

8編

５．名誉会員称号の授与の報告

名誉会員

定款
第2章　第8条
②　前項の会員のうち、GEOASIAの発展に顕著に寄与をした年齢７０歳以上の個人で、理事が推薦し理事会で承認された者を名誉会員とする。

澤田　義博　様

（公財）地震予知総合研究振興会, 専務理事
名古屋大学名誉教授

簡単に理由を理事から説明

６．*GEOASIA* Masterの認定

GEOASIA Master （敬称略）

	名前	所属
第01号 （H19年認定）	高稲　敏浩	(一社)GEOASIA研究会
第02号 （H20年認定）	竹内　秀克	（株）不動テトラ
第03号 （H21年認定）	山田　英司	中部電力（株）
第04号 （H21年認定）	河井　正	東北大学
第05号 （H21年認定）	金田　一広	（株）竹中工務店
第06号 （H21年認定）	山田　正太郎	名古屋大学
第07号 （H21年認定）	椎名　貴彦	JR東日本（株）
第08号 （H21年認定）	田代　むつみ	名古屋大学
第09号 （H21年認定）	中井　健太郎	名古屋大学
第10号 （H23年認定）	酒井　崇之	名古屋大学
第11号（H24年認定）	徐　賓賓	中交天津港湾工程研究院有限公司
第12号（H25年認定）	野中　俊宏	東邦ガス（株）
第13号（H25年認定）	吉川　高広	名古屋大学

GEOASIA Master （敬称略）

	名前	所属
第14号（H26年認定）	大木　基裕	ＪＲ東海（株）
第15号（H26年認定）	Nguyen Hong Son	（株）安藤・間
第16号（H26年認定）	福永　俊樹	中部電力（株）
第17号（H27年認定）	加藤　健太	東京ガス（株）
第18号（H27年認定）	後藤　敬彦	東京電力（株）
第19号（H28年認定）	豊田　智大	名古屋大学
第20号（H29年認定）	山下　勝司	(株)不動テトラ

第21号（H30年認定）　清水　亮太　　中部土質試験協同組合

清水　亮太氏より自己紹介

懇親会のご案内
17：30～19：30
於　工学部8号館2階